

進路指導部だより

令和5年度
第4号

日頃より、保護者の皆様には、本校のキャリア教育・進路指導について、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。今回の進路だよりでは、A部門小学部の進路学習についてご紹介させていただきます。

さて、小学部の保護者の方々に、進路（指導）のことを話題にすると、「よくわからない」「まだ先だから」というお話がよく聞かれます。というのも進路指導は、中学部や高等部になってからのこと、あるいは卒業時のこと、と捉えられる方が多いからではないかと考えられます。しかし、進路については近年、キャリア教育の考え方が基本となっています。



キャリア教育とは～

「障害の程度に関係なく、自分らしい生き方を見つけて実現していくために必要な意欲や態度を育てる教育をいいます」

従って、キャリア教育は就学前の段階から系統的に取り組んでいくべきものになります。

そして、在学中で終わるものではなく、一生積み重ねていくものになります。

A部門小学部の目標は～「将来の社会生活や自立に向けて体験的な活動を通して、豊かな人間関係や社会性を育む」です。

小学部から高等部まで行う全ての学習が、進路学習につながります。生きる力を育て、家庭や社会の中で自分の役割を果たし、自立を目指せるよう学習します。小学部では生活習慣の基礎

CHECK!! づくりを目指して、発達段階に応じた以下のような学習を行っています。



〈日常生活の指導〉

- ・着替え、排泄、食事、挨拶など
- ・毎日の基本的な生活に必要な力を身に付ける学習です。
- ・身の回りのことを一人でできるようにすることが主な目標です。



〈遊びの指導〉

- ・水や砂、紙や粘土での感覚遊びや、遊具や玩具、ゲーム、ごっこ遊びなどの様々な遊びを通して、自分で楽しめる遊びを増やし、自発的に取り組む力を育みます。また、体力や集中力を付けたり、手指や体の使い方やルール、人との関わり方についても学びます。将来の余暇活動を充実させることにつながります。



〈生活単元学習〉

- ・制作、調理、買い物、季節行事、余暇など
- ・様々な体験を通して、将来の社会生活を送る時に必要な力を身に付ける学習です。
- また、6年生になると、進学に向けて中学部の見学・体験学習があります。

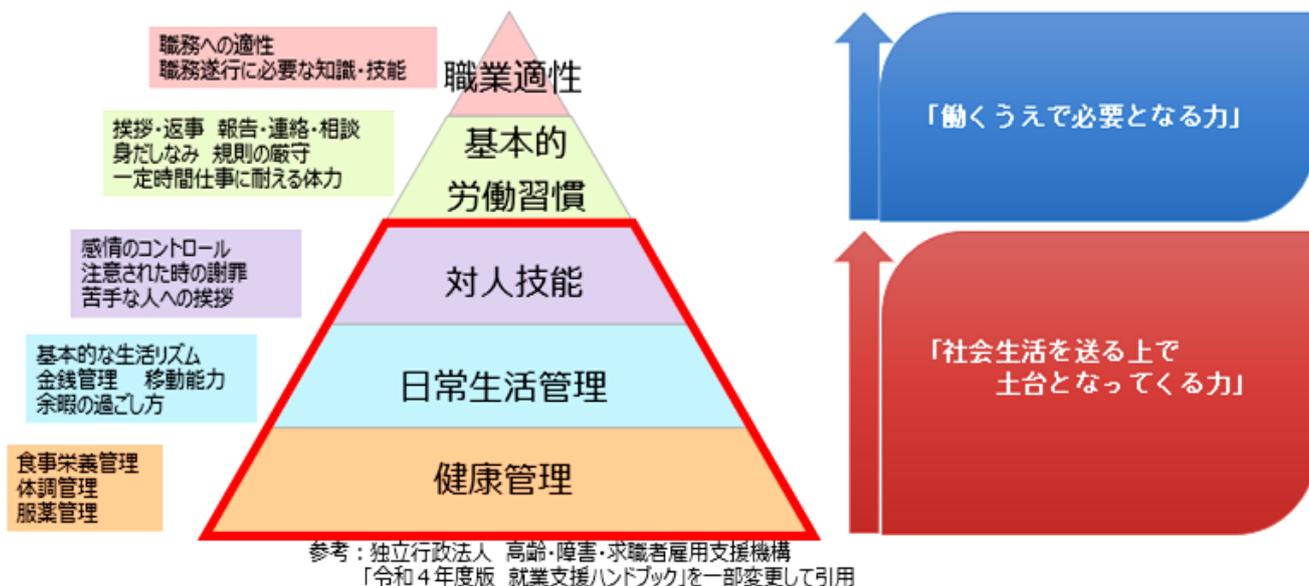


〈自立活動〉

- ・手指や体の使い方を知る、穏やかに過ごす方法を知る、自分の思いを伝える方法や相手の思いを理解する力を身に付けるなどの学習です。
- ・分かることやできることを増やしたり、社会生活に適應できる力を伸ばしたりして自立につながります。



「A部門小学部の「進路」につながる取り組みについて」お伝えします。



A部門小学部では太線で囲んである、進路選択につながる力の土台となる「対人技能」「日常生活管理」「健康管理」に取り組んでいます。6年生の活動一例を紹介します。

	気持ちの表出	つながる力
対人技能		<p>職場などで他者とコミュニケーションを取ったり、連絡や依頼、報告をしたりする力へとつながります。</p>
	<p>自立活動のコミュニケーショングループでは、自己肯定感を高め、友達や教師とかかわり合う力を育むために、様々なゲームを通して活動しています。</p> <p>※写真は、ボールを探し当てる友達に丁寧に分かりやすい言葉でボールの位置まで誘導している場面です。共に協力し合いゲームを達成することができました。</p>	

	健康の保持・増進	つながる力
健康管理		<p>職場などで継続して働くために必要な体力と、健康を維持することのできる力へとつながります。</p>
	<p>毎日の朝の運動では、歩いたり走ったり、ストレッチ運動等を通して、体力の向上を目指し、体を動かす楽しさや心地よさを味わえるよう取り組んでいます。</p> <p>※写真は、5分間走り続ける活動で、動きを持続する能力を高める運動になります。友達と競い合いながら、また、目標を決めて達成できるよう取り組んでいます。</p>	

	清掃	つながる力
日常生活管理		<p>日常的に行うことで綺麗な環境を心掛けられるようになり、職場を清潔に保ち衛生面に気をつける力へとつながります。</p>
	<p>給食後の清掃では、自在箒での掃き掃除や雑巾がけに取り組んでいます。チェックシートで回数を数えながら、ゆっくりと丁寧に行っています。</p> <p>※写真3は、手順通りに自在箒を扱い、上手にごみを集めることができました。</p>	

